

第 1 回策定委員会委員意見に関する検討状況について

(※ 以下、「■」は第 1 回策定委員会における委員意見、「⇒」は市の検討状況を示しています。)

■駐車場は今回の計画に含まれているか。

⇒ 本計画の策定過程において、必要台数の検討を行い、計画中に明記する予定です。

■駐車場は、建物の集約化・地下化・立体化の検討も含め、敷地内に整備するのか。併せて、民間による運用、敷地外の民間駐車場との連携も検討すべきではないか。

⇒ 駐車場は敷地内に整備する予定ですが、整備方法及び運用方法については、民間施設の導入の可能性も含め、検討中です。

■第 1 回策定委員会資料 3 「UR 都市再生機構事務所用地活用に係る施設整備方針」以外の機能の導入は検討しているか。

⇒ 第 1 回策定委員会資料 4 中「計画地に導入する公共施設（案）」にある施設について、導入を検討しております。今後、市民アンケート、民間事業者の参入意向調査等の結果を踏まえて、最終的に導入する施設を検討いたします。

■公共施設を補完する施設の整備は行うのか。

⇒ 民間活力の導入を検討していることから、本計画の策定に当たっては、民間事業者に参入意向調査を実施し、整備可能な施設を検討する予定です。

■容積率 400%とあるが、具体的にどれくらいの規模まで整備が可能か。

⇒ UR 都市再生機構事務所用地の敷地面積に対する延べ床面積は 30,000 m²程度になります。なお、今回、整備予定の複合施設の延べ床面積は 5,000 m²~6,000 m²程度を想定しており、これを示した施設計画の案については、第 3 回策定委員会においてお示しする予定です。

■2 号館を解体し、敷地面積を確保の上、大きな施設を建設すべきではないか。

⇒ 2 号館の解体については、各施設の必要諸室等の面積を踏まえ、適当な施設規模を把握した上で、利用者の利便性及び安全性、コスト面等を考慮し、検討いたします。第 3 回策定委員会において施設計画の案をお示しする予定です。

■2 号館を解体する場合と解体しない場合、両方の案を示すのか。

⇒ 第 3 回策定委員会において、解体する場合と解体しない場合の両案を提示する予定でございます。その際は、市の方針を併せてお示しする予定です。

■配置計画は、コストや、運用方法などの要因も踏まえ検討する必要がある。

⇒ 配置計画は、利用者の安全性、利便性に加え、コスト面等を考慮し、検討いたします。

■維持管理費の検討も必要であり、全体のコストを意識して計画を策定すべきではないか。

⇒ 維持管理費等を考慮した上で、適切な規模とし、コストカットを意識した計画となるよう努めます。

■駐車場はピークカットの視点が必要ではないか。併せて、代替地、バス利用等の手段も検討すべきではないか。

⇒ 駐車場については、ピークカットの視点をもって検討いたします。

■多目的、コンパクト、再整備等の視点が必要ではないか。

⇒ 維持管理費等を考慮し、施設の共用化を図ることで、適切な規模で、市民にとって利用しやすい施設になるよう検討します。

■1号館が孤立しないよう複合施設と連絡通路等で一体化し、両方を有効に使えると良い。

⇒ 複合施設の配置等にもよりますが、中央駅前地域交流館との一体的な活用を前提に検討いたします。

■中央駅前地域交流館1号館の建替えも計画に含むべきではないか。

⇒ 第1回策定委員会資料3「UR都市再生機構事務用地活用に係る施設整備方針」において、中央駅前地域交流館2号館の解体について検討することとしておりますが、中央駅前地域交流館1号館については、同方針に基づき現状のまま一体的に活用する予定です。

■整備方法について、長期的な視点で段階的に整備していくことも検討すべきではないか。

⇒ 隣接する中央駅前地域交流館と一体的な活用を図り、市民が長く利用できる施設となるよう検討いたします。

■歯科医師会、医師会、介護等の福祉関係者が会議や研修会を行う際に利用できるスペースはあるのか。

⇒ 本複合施設に整備予定の多目的ホール、ミニホール、会議室等を活用いただきたいと考えております。

■会議室、多目的ホール及び子ども関係施設の共有化が必要ではないか。

⇒ 各施設の所管課とヒアリングを実施し、共有部分の調整等を行うことで、建築予定面積の縮減や利便性の向上を検討しております。なお、検討結果については、第3回策定委員会においてご報告いたします。

■市の機能を千葉ニュータウン中央駅圏に移す考えはあるのか。

⇒ 現在のところ、市役所を千葉ニュータウン中央駅圏に移転する計画はありません。

■第1回策定委員会資料2中「2 計画地の概要」中の面積は2号館を除いた面積か。

⇒ 当該面積は、独立行政法人都市再生機構事務所跡地（印西市中央南一丁目4番3）のみの面積であり、2号館の敷地（印西市中央南一丁目4番1、面積3,997.21㎡）を含まない面積となります。

■民間駐車場の利用も可能であれば、敷地をもっと大きく使うことができるのではないか。

⇒ 施設利用者の利便性を考慮し、まずは、計画地内で計画いたします。なお、駐車台数等が不足する場合、計画地周辺の民間駐車場の活用可能性についても検討いたします。

■策定委員会の会議の進め方、位置付けについて

⇒ 当該策定委員会については、設置要綱第1条の規定のとおり基本計画の策定に当たり、市民、学識経験者等の意見をいただき、計画に反映することを目的としております。なお、委員のみなさまにご意見をいただきますのは、設置要綱第2条各号に規定する事項となります。

■委員意見に対し、どのような形で反映したかを次回委員会で回答いただきたい。

⇒ 策定委員会での委員意見は庁内検討会で報告し、関係各課等に確認いただき、検討の結果、対応が可能な意見については、基本計画に反映する予定です。

■図書館、学習スペース及び多目的ホールは駅南側に不足している。

⇒ 多目的ホールについては、本計画において整備を予定しております。なお、図書館及び学習スペースについては、千葉ニュータウン中央駅北側に小倉台図書館があり、市全体の公共施設の適正配置及び維持管理の観点から、駅の南北への施設の設置は難しいものと考えております。

■中央駅前地域交流館は、諸室が利用者ニーズとのマッチしていない。当該複合施設は、多様なニーズに対応した施設にしていきたい。

⇒ 中央駅前地域交流館は旧中央駅前センター（公民館、児童館、子育て支援センター及び老人憩いの家）の機能を保持しつつ、新たに出張所、市民活動支援センター、ファミリーサポートセンター及び市民安全センターを併設し、地域交流のための機能を向上させることを目的に整備した施設です。

利用者のニーズが多様化していることから、これを満たすことは難しい現状であることは認識しておりますが、当該複合施設の整備については、検討段階において利用者のニーズを十分に把握し、反映に努めたいと考えております。

■施設予約、団体使用等の問題について

⇒ 施設予約、団体使用等の方法については、今後、管理運営体制を構築する過程において、検討していく予定です。

■今後は、市民アンケートの対象区域を広げるべきではないか。

⇒ 第1回策定委員会資料3「UR都市再生機構事務用地活用に係る施設整備方針」を踏まえ、市民アンケートの対象区域については、施設利用の実態に即した意見をいただけるよう設定いたしました。

■多目的ホールの規模について、100～200席程度の規模はニーズにマッチしており、400～500席程度であれば、現在の文化ホールで対応可能である。他に1,300席の大ホールが必要と考えるがいかがか。

⇒ 近隣施設等と共存、市全体の公共施設の適正配置及び維持管理の観点から実現は難しいものと考えています。

■地区ごとのクロス集計を行っているか。

⇒ 第2回策定委員会資料3において、年齢別の他に、項目に応じて、地区別、居住年数別のクロス集計結果を記載させていただきました。

■市民アンケートの結果を踏まえ、医療関連サービスの整備について検討すべきはないか。

⇒ 「計画地に一緒に整備してほしい施設・サービス」として選択率が約6割となっているので、今後、民間事業者の参入意向調査を踏まえ、検討していく予定です。

■施設整備については、段階的に整備していく考えも念頭に置くべきではないか。

⇒ 長期的な視点をもって、計画地が一体的に活用できるよう検討いたします。

■複合施設に関係する団体や協会、学校等の要望の吸い上げが必要である。

⇒ 必要に応じ関係団体等から意見を聴取するとともに、併せて、市民参加条例に基づく各種市民参加手続を実施することで、広く意見を聴取し、計画に反映します。

■小児科は全国的に少ないが、医療モールの誘致はどのように行うのか。

⇒ 民間企業の力を借りて、誘致を行っている事例が数多くあるので、これらを参考とし、検討していく予定です。

■民間との連携について、具体的な方策等について資料を用意いただきたい。

⇒ 民間との連携については、現在、民間事業者に対し、参入意向調査を実施するなど、検討を進めているところです。民間との連携については、基本計画において整理する予定です。